

プロジェクト名	水空間デザインプロジェクト会議	
設置日	平成25年10月28日	
目的	琵琶湖を観光資源として戦略的にそのポテンシャルを引き出し賑わいの創出につなげるため、おまつり広場からなぎさのテラスにかけての琵琶湖湖上において、人々が水に触れ、憩いを感じ、人と自然が共生する水空間の創造を目指し、周辺の水辺環境に配慮した湖上の活用方策を検討し、水空間デザイン（案）を提案する。	
活動内容 （予定含む）	①水空間の整備に関する事業計画（=水空間デザイン（案））の作成、提案 ②水空間整備にあたっての関係者との協議・調整	
2期計画の位置づけ ※該当する方針にチェック	<input type="checkbox"/> （基本方針1）大津駅前・湖岸を結ぶ都市機能の集約・複合化 <input type="checkbox"/> （基本方針2）大津百町の歴史・文化を生かす暮らしとにぎわい創出 <input checked="" type="checkbox"/> （基本方針3）琵琶湖を生かす観光と環境共生のまちづくり 【該当事業又は関連事業】	
人数	5	
リーダー	山本 進一	(株)まちづくり大津 取締役
サブリーダー	松岡 拓公雄	滋賀県立大学環境科学部 教授
プロジェクト委員	石川 亮	成安造形大学附属近江学研究所 研究員
	寺田 智次	(株)まちづくり大津 監査役
	秋村 洋	(株)まちづくり大津 取締役
適用・特記事項		

大津市中心市街地活性化協議会プロジェクト会議 事業計画及び活動実績

プロジェクト会議名	水空間デザインプロジェクト会議
-----------	-----------------

年度	活動計画（予定含む）・活動実績※具体的に	中活協議会予算支出予定額・実績額内容
平成25年度 （実績）	①湖岸エリアの現状把握 ・湖岸エリアの歴史、変遷を把握 ②水辺をとらえる研究会の開催 ・勉強会 ・フィールドワーク	実績額：78,819円 内訳： ②研究会開催費 78,819円 （資料代、貸し室代、学生交通費等）
平成26年度 （実績）	①湖岸エリアの現状把握 ・関係法令等の整理 ②水辺をとらえる研究会の開催 ・水辺空間模型の作成	予算額：450,000円 内訳： ②研究会開催費 164,896円 （シンポジウム開催費、資料代、学生交通費等） 模型製作費 408,672円
平成27年度 （予定）	①関係機関との協議 ②提案内容のブラッシュアップ ③提案内容のまとめ ④事業を提案	予算額：450,000円 内訳： ②③提案内容検討費 450,000円
平成28年度 （予定）		
平成29年度 （予定）		

公開シンポジウム

大津湖岸なぎさ公園の水空間デザインを考える 報告書（概要）

日 時：平成27年2月28日（土）13：30～16：30

場 所：滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール3階研修室

出席者：滋賀県・・・5名

大津市・・・7名

中活協議会・・・3名

まちづくり大津・1名

一般参加・・・10名

合計・・・26名

【次 第】

①主催者挨拶（安孫子邦夫：大津市中心市街地活性化協議会 会長）

②基調講演『賑わいを生む水辺空間の活用と良質な景観形成にむけて』

講師：松岡 拓公雄

③水空間デザインプロジェクトの検討経緯について

（山本進一：水空間デザインプロジェクト会議リーダー）

④作品プレゼンテーション

（進行：石川 亮（成安造形大学附属近江学研究所研究員））

【説明】

・成安造形大学芸術学部芸術学科 学生、滋賀県立大学環境科学部環境建築デザイン学科 学生

【提案内容】

成安造形大（1案）・・・『自然のふところ公園計画』

- ・駐車場の屋根の上も公園の一部として活用する。
- ・琵琶湖文化館を地盤だけを残し、新しいランドマークとなるような施設に建てなおす。

『カフェスペース』・・・公園で遊んだ人や周辺のオフィスで働く人が一息つく場所。

『市民の寄付で成り立つ小さな図書館』

⇒ 読まなくなった本や絵本を寄付してもらい、地域に開いた図書スペースを設ける。

滋賀県立大学（2案）

①『水辺の散歩道』・・・それぞれの敷地に異なった機能・空間をつくり、多様なアクティビティを生み出す場所となる。

- ・おまつり広場・・・ イベントを開く場、日常と非日常いつでもまちの憩いの場に。

○多目的広場はイベント時にはテントを張り、屋台の商品を食べる場に。

○丘をもうけてイベント時には観客席として使用する。

- ・なぎさ公園・・・ 景色を楽しんだり広場で遊んだり、イベントにも対応する可変空間。

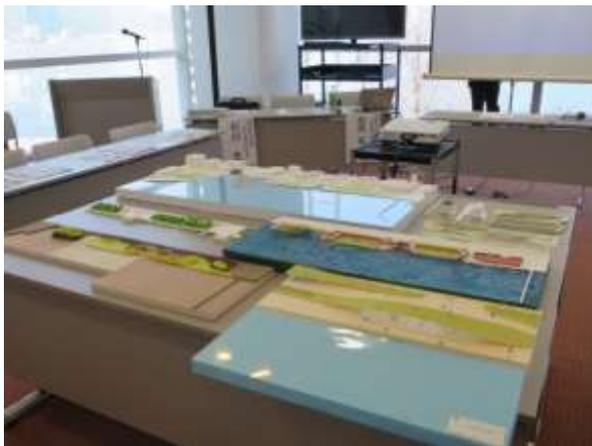
- ・琵琶湖文化館・・・ リノベーションし、活用する。湖岸利用者が自然と集う大津の文化を発信する、休憩スペースとする。

○文化館まわりに木デッキを設け新たな動線をつくる。

○1階：情報メディアセンター、2階：カフェ、多目的スペース、3階：展望台、集会室

②『みちみちる』・・・動線の整備によってたくさんの人に満ち、たくさんの出会い、出来事が満ちてくる

- ・ランドスケープ・・・帯状の芝生空間に起伏をつけて丘のようにし、そのなかに各機能を盛り込む。
 - 丘の中にはトイレ、駐車場、カフェ、サイクルステーションを設ける。
 - 丘（屋根）は上り下りが可能で、眺望を楽しんだり、子どもの遊び場にもなる。
 - サイクルスタンドはデザイナーが考案した、オブジェのようなサイクルスタンドが開発されている。
- ・水面・・・浮き栈橋を作り、水上を歩くことができる道を作る。同時に浮き栈橋の下でイケチョウ貝の養殖を行う。イケチョウ貝は、水質浄化機能を持つと共に真珠を生産する。⇒ 環境に配慮。
- ・琵琶湖文化館・・・波の形をイメージし、琵琶湖ホールとの統一性を考えた。
 - 内部は銭湯、食事、インフォメーションなどがあり、旅の疲れを癒したり、交流の場とする。



2015.3.1 京都新聞

大津市の琵琶湖文化館と周辺の湖岸エリアの再整備案を県内の大学生が提案する公開シンポジウム「大津湖畔なきさ公園の水空間デザインを考える」が28日、同市打出浜のびわ湖ホール研修室で開かれた。

大津市の琵琶湖文化館と周辺の湖岸エリアの再整備案を県内の大学生が提案する公開シンポジウム「大津湖畔なきさ公園の水空間デザインを考える」が28日、同市打出浜のびわ湖ホール研修室で開かれた。

市と経済団体、まちづくり団体でつくる「市中心市街地活性化協議会」が催した。同協議会が2年前に立ち上げたプロジェクトに協賛する立大と成安造形大の学生が参加し、現地調査や会合を重ねて案を練り上げてきた。

成安造形大のグループは、琵琶湖文化館を改修して子ども向けの図書館とカフェとする案を出した。公園には芝生の丘を設け、「都市に住む人たちが柔らかく結びつく場所になりたい」とアピールした。

立大の2グループは芸術作品のような自転車スタンドを公園に点在させ、琵琶湖文化館の内部に銭湯を設けたり、外部の周囲を木製のデッキや栈橋で囲んで散策できるデザインを示した。

大津湖岸整備 学生が提案
なきさ公園に芝生丘
琵琶湖文化館に銭湯



模型を使ってなきさ公園のデザイン案を説明する大学生（大津市・びわ湖ホール）

地調査や会合を重ねて案を練り上げてきた。成安造形大のグループは、琵琶湖文化館を改修して子ども向けの図書館とカフェとする案を出した。公園には芝生の丘を設け、「都市に住む人たちが柔らかく結びつく場所になりたい」とアピールした。立大の2グループは芸術作品のような自転車スタンドを公園に点在させ、琵琶湖文化館の内部に銭湯を設けたり、外部の周囲を木製のデッキや栈橋で囲んで散策できるデザインを示した。

説明を聞いた参加者からは「文化館が歴史や文化を伝えてきた機能を残せないか」などの意見が出ていた。

（沢田亮英）

公開シンポジウム

大津湖岸なぎさ公園の水空間デザインを考える

賑わい × 憩い

自然 × 文化

共創 × 対話

2015年2月28日(土)

13:30~15:30(開場:13:15)

場 所：滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 3 階研修室

定 員：50名(事前申込制)
申込みは先着順になります。定員になりしだい
締め切らせていただきますのでご了承下さい。

参加費：無 料

講 師

滋賀県立大学環境科学部
環境建築デザイン学科教授

建築家/アーキテクトシップ代表
建築とランドスケープの一体融合と
地産地消型環境建築を研究実践
現在、大津市都市景観審議会会長、
滋賀県建築審査会会長他



松岡 拓公雄 (まつおか たけお)

【次第】

- 13:30 主催者挨拶
(安孫子邦夫：大津市中心市街地活性化協議会 会長)
- 13:35 基調講演
『賑わいを生む水辺空間の活用と
良質な景観形成にむけて』
講師：松岡 拓公雄
(滋賀県立大学環境科学部環境建築デザイン学科教授)
- 14:20 休憩
- 14:35 水空間デザインプロジェクトの検討経緯について
(山本進一：水空間デザインプロジェクト会議リーダー)
- 14:45 作品プレゼンテーション
(進行：石川 亮(成安造形大学附属近江学研究所研究員))
【説明】・滋賀県立大学環境科学部環境建築デザイン学科 学生
・成安造形大学芸術学部芸術学科 学生
- 15:30 終了

名前・連絡先をご記入のうえ、事務局へ FAX またはメールにてお申込み下さい。

主催：大津市中心市街地活性化協議会 後援：大津市

事務局・問合せ先：(株)まちづくり大津

TEL 077-523-5010 (平日9:00~17:00)

FAX 077-514-7690 FAXでのお申込みは、裏面に記入の上送信して下さい。

Email：info@machidukuri-otsu.jp

参加申込み用紙

事務局 (株)まちづくり大津

FAX 077-514-7690

大津湖岸なぎさ公園の水空間デザインを考える

お名前 : _____

連絡先 : _____

(連絡可能なメールアドレスか電話番号を記入下さい)